

みんなの社プリ～教科書太字の確認～ No. 22

開国と近代日本の歩み



<日清・日露戦争と近代産業①>

- (1) 欧米列強が資源や市場を求めてアジア・アフリカへ経済的に進出し、軍事力によって植民地を広げていった動き。
- (2) 欧米と国際的に対等な地位を得るために政府が進めた、不平等条約を改める交渉。
- (3) 条約改正を目指して、外務卿〔大臣〕の井上馨が鹿鳴館で舞踏会を開くなどして進めた政策。
- (4) 不平等条約の改正を求める世論が高まるきっかけとなった、1886年のイギリス船の沈没事件。
- (5) イギリスと交渉して、1894年に領事裁判権を撤廃した日英通商航海条約の締結に成功した外務大臣。
- (6) 1894年に東学を信仰する団体を中心とした農民が朝鮮半島の南部で蜂起したできごと。
- (7) 甲午農民戦争をきっかけに清と日本が出兵したことから、1894年に始まった戦争。
- (8) 1895年に日本が清と結び、遼東半島・台湾などを獲得し、多額の賠償金を得た条約。
- (9) ロシアがドイツ・フランスとともに、遼東半島を清に返還するよう日本に勧告したできごと。
- (10) 伊藤博文が1900年に結成した政党。
- (11) 1899年に清で排外主義を唱える団体が蜂起し、翌年、北京の各国公使館を包囲したが、連合軍に鎮圧された事件。
- (12) ロシアに対抗するため、1902年に日本とイギリスが結んだ同盟。
- (13) 1904年に日本とロシアとの間で始まった戦争。
- (14) 日露戦争に出兵した弟を思い、「君死にたまふことなかれ」という詩を発表した歌人。
- (15) 1905年に日本とロシアとの間に結ばれ、日本が長春以南の鉄道利権や北緯50度以南の樺太などを獲得した条約。
- (16) ポーツマス条約の内容に不満を持つ国民が東京で起こした暴動。
- (17) 1910年に日本が韓国を併合したできごと。
- (18) 日本が韓国を植民地支配するために置き、強い権限を持った役所。
- (19) 日本が設立し、鉄道を中心に満州での利権を独占した半官半民の会社。
- (20) 民族の独立、政治的な民主化、民衆の生活の安定の3つの考えからなる革命の指導理論。
- (21) 三民主義を唱えて清をたおし、近代国家を建設する革命を進めた人物。
- (22) 1911年に武昌で軍隊が反乱を起こしたことをきっかけに広まった、中国の革命。
- (23) 1912年に建国され、孫文を臨時大総統とした、アジア最初の共和国。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	
(16)	
(17)	
(18)	
(19)	
(20)	
(21)	
(22)	
(23)	